

うとない

社会医療法人こぶし

40年の歩み

Vol.454 2026.3

植苗病院として産声を上げてから40年。
新たにウトナイの地で歩み始めた今、変わ
らない想いととも、次の時代の精神医療へ向
かいます。

年表

1985年3月	植苗病院開院準備室開設
1986年2月	植苗病院開院 許可病床72床 職員42名
1988年12月	苫小牧こぶし開院
1990年2月	医療法人こぶし認可 緒方道輔院長、理事長就任
1991年10月	千歳こぶしクリニック開院
1992年12月	札幌こぶしクリニック開院
1993年9月	望月紘医師、院長就任
1994年5月	植苗病院作業療法開始
1997年3月	柳町診療所・柳町デイケア開設
2000年4月	精神障害者生活訓練施設 遊友荘開設(2009年グループホームに変更)
2001年6月	緒方理事長、名誉院長就任 望月紘医師、理事長就任
2012年4月	片岡医師、理事長就任
2012年8月	柳町診療所リワークデイケア開設
2014年8月	訪問看護ステーション ころろくる開設
2014年9月	相談支援事業所とまっふ開設
2022年9月	電子カルテ導入
2023年4月	高木果医師、院長就任
2023年12月	ウトナイ病院へ新築移転
2024年1・2月	柳町診療所ウトナイ病院合流

私たちの歩みは1986年2月15日、植苗病院から始まりました。植苗の地に72床一階建ての病院として誕生した「植苗病院」。その始まりは、開院の前に緒方道輔先生の想いに賛同した仲間たちが集まった植苗病院開設準備委員会にさかのぼります。

自分たちの手で理想の精神医療をつくりたいという想いから始まった植苗病院は、1987年には264床へと増床し、建物も二階建てとなりました。1988年にはこの広報誌の前身である『NEWSうえなえ』が創刊され、苫小牧・千歳・札幌へとクリニックを開設。1990年には医療法人こぶしとして認可され、地域に根ざした医療の輪を広げてきました。

振り返ると、私たちの歴史は「共に生きる」という思いに支えられてきました。1990年代には、喫茶店や売店の運営を通じた社会復帰訓練を開始し、共同住居「光洋館」や援護寮「遊友荘」も開設。患者さんが地域で自分らしく暮らせるよう、その時々ニーズに合わせて様々な取り組みを続けてきました。

2004年苫小牧こぶしの柳町診療所統合、2022年千歳こぶしの植苗病院統合を経て、2023年12月1日私たちは「植苗病院」から「ウトナイ病院」へと名称を改め、長く親しんだ植苗からウトナイへの新築移転という大きな節目を迎えました。2024年1月には柳町デイケア、2月には柳町診療所の統合も終わり、新しい環境での診療体制が整いました。移転当初はシステム面などで戸惑いもありましたが、職員が力を合わせ、患者さんに寄り添う姿勢は変わることなく受け継がれています。

40周年という節目は、私たちにとって新たなスタートでもあります。これまで地域の皆さまに支



開院して間もない頃の植苗病院

えられながら歩んできた歴史を胸に、これからも法人理念である「病む人と出会い 病む人を支え 病む人に学ぶ」を大切に、地域医療の灯を守り続けてまいります。新しく、けれど変わらない「こぶし」の精神とともに、次の時代へ歩みを進めていきます。



精神科医 川並 剛

第12回 「過去の自分の栄光」

今回で1年、12回目の原稿になるのですね、早いです。今回は過去の自分の栄光です、とはいっても、「俺はすごかったんだぞ！」…ではなく、そう、過去の栄光は幻なのだという内容です。私が我が子の事を考える時、「自分はこれぐらいはできていた」とか、「なんでこんなこともできないの？」など、偉そうに思ってしまうのです。でも、両親から聞いた幼稚園の私は『親分肌の子が隣にいて、絵具とか全部準備してもらっていた』らしいし（記憶ではもちろん自分で用意している）、『発表会で皆が渦になって回る時、何かすごいはみ出していた』らしい（自分はやってやったぜ！と思っている）のです。今思うと確かに、音楽会では端っこのマラカス役で（曲の2番だけ音を鳴らす）、なけなしの抵抗…内心怒り狂いながら1番でもこっそりマラカスを振っていたし、聖劇はナレーターだったけど何（の劇）をしているのかも何を喋っているのかもま〜ったく理解していなかったのも、よく考えなくても幼稚園の先生の判断は間違っていなかったと思います。過去の栄光なんてあてにならないですね…というちょっぴり？ 恥ずかしい話でした（苦笑）

Dr. 望月の日々雑感

東大病院長が引責辞任

東京大学医学部附属病院で汚職事件が相次いだことを受け、同病院の病院長が引責辞任した。昨年11月には、医療機器メーカーから寄付金名目で賄賂を受け取ったとして、松原被告が警視庁に逮捕され、その後起訴された。さらに今月24日には、研究科教授が風俗店での高額接待を受けた疑いで逮捕されるなど、不祥事は続いている。

こうした事態を受け、東京大学の藤井総長は大学公式サイトで「一連の事案を極めて重く受け止め、厳正に対処したい」とコメントを発表した。大学の信頼回復に向け、組織としての説明責任と再発防止策が問われている。



精神科医 田中 尚朗

第35回 駅探訪 ブランダイス/ロバーツ駅

みなさんこんにちは。今年も鉄道廃止の季節がやってきました。北海道では3月末で留萌本線がとうとう全線廃止になるため、今頃は沼田町あたりが鉄道マニアで大賑わいしていることでしょう。おもしろいことに、ボストンでは逆に公共交通の整備拡充が進んでおり、昨年にはボストンから南側に伸びている鉄道路線が延伸され、6つの駅が新設されました。ボストンは古い街なので曲がりくねった狭い道が多く、渋滞がひどくなる一方で通勤者も車での乗り入れに限界を感じ始めているのでしょうか。

さて今回は、前回のウォルサム駅からさらに進んだブランダイス/ロバーツ駅を訪れてみます。ウォルサム市の南西端に位置し、ブランダイス大学のすぐそばにあります。1852年頃、「ロバーツ交差点」と呼ばれる駅として開業しました。この名前は、付近で製紙工場を営んでいたジョン・ロバーツからとられたとされています。1887年には駅舎が建てられ、1893年には転車台と機関庫がつくられました。1977年から翌年にかけて現在の駅名に変更、1986年、1993年の両年に改修が行われて現在の姿になっています。

構内は2面2線、両線のあいだには金網が張られ、勝手な横断はできないようになっています。プラットフォームはかなり長く、構内踏切が1か所あり、端から端まで歩くのに数分を要します。駅の北側は大学があり、なんとなくゆったりした感じですが、南側は住宅街が広がり、ややごみごみした雰囲気です。

ブランダイス大学は1948年にできたユダヤ教系の大学で、ユダヤ教徒として初めて最高裁判事になったルイス・ブランダイスにちなんで名付けられました。特定の宗教に基づいた教育はしないポリシーとなっていますが、学生は半数以上がユダヤ系が占めています。当初アインシュタイン大学と名付けようとしたのですが、当人に断られたという逸話が残っています。



つらつら持ち類を赤らめ遊ぶ子達(つら)

★◎

生き抜く冬に咲く花あるように

★たつゆき

給食委託業者が変わりました

2026年3月1日より給食の委託業者が新しくなりました。今後ともどうぞよろしくお願いたします。



親子丼
ほうれん草の味噌汁
大根サラダ
オレンジムース



掲示されているポスター

